



薬の保管方法について

みなさんは薬をどのように保管していますか？適切に保管しないと薬の品質の低下や、誤飲などの事故につながるおそれがあります。そこで今回は薬の保管方法についてお答えします。

■ 薬を保管するときの注意点は？

薬はほとんどが化学物質であるため、いろいろな条件により成分が分解されたり、変化したり、品質や効果が低下していきます。薬の劣化に影響を与えるおもな原因は、**光**、**高温**、**湿気** の3つです。保管するときはこれら避けることが重要です。



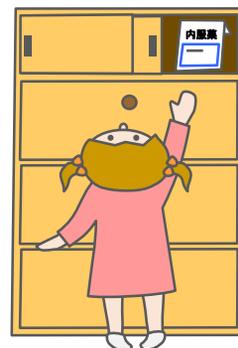
■ 薬は冷蔵庫で保管するといいの？

一般の錠剤やカプセル剤は**保管方法の指示がない場合には「室温」**で保管しましょう。冷蔵庫で保管すると、取り出したときに室内との温度差で薬に湿気に移りやすくなるためお勧めできません。ただし、シロップ剤や坐薬など**「冷所保存」の指示がある薬は冷蔵庫で保管**しましょう。

※「遮光」の指示がある薬は指定の袋に入れて保管しましょう。

■ 子どもの手の届かないところに保管しましょう！

子どもは置いてあった薬を口に入れてしまったり、薬をお菓子と間違えて食べてしまう危険があります。室内でも冷蔵庫でも子どもの手が届かない場所に薬を保管しましょう。



■ こんなことにも注意しましょう！

液体の薬をほかの容器に移し替えたり、錠剤やカプセル剤をシートから取り出して保管することは、薬の種類や使い方がわからなくなったり、薬の取り違えがおこりやすくなるのでやめましょう。また、薬以外のものと一緒に保管することは避け、薬だけを保管する場所をつくりましょう。